



## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月11日

上場会社名 株式会社 カネミツ 上場取引所 東  
 コード番号 7208 URL http://kanemitsu.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金光 俊明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 業務本部長 (氏名) 金光 秀治 TEL 078-911-6645  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 2021年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	4,307	51.5	106	—	129	—	65	—
2021年3月期第2四半期	2,843	△30.9	△517	—	△529	—	△233	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 135百万円 (—%) 2021年3月期第2四半期 △381百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	12.79	—
2021年3月期第2四半期	△45.60	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	14,270	9,209	63.4
2021年3月期	14,146	9,147	63.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 9,043百万円 2021年3月期 8,980百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	13.00	—	13.50	26.50
2022年3月期	—	13.50	—	—	—
2022年3月期 (予想)	—	—	—	13.50	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,200	30.8	400	—	370	—	360	—	70.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	5,129,577株	2021年3月期	5,129,577株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	16,291株	2021年3月期	16,281株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	5,113,287株	2021年3月期2Q	5,113,327株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症は収束傾向にあり、先行きについては、景気が持ち直していくことが期待されるものの、半導体供給不足など下振れリスクの高まりがあることから、景気の先行きは極めて不透明な状況が続いております。

自動車業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の長期化に伴う個人消費の減少や半導体不足を受けた生産減少により、国内自動車販売台数は、第1四半期会計期間において前年同会計期間比23.8%の増加と改善しましたが、第2四半期会計期間においては、前年同会計期間比14.9%の減少となりました。

このような経済状況のもとで、当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）の売上高は4,307百万円（対前年同四半期1,463百万円増加[51.5%]）となりました。利益面では、営業利益106百万円（対前年同四半期は営業損失517百万円）、経常利益129百万円（対前年同四半期は経常損失529百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益65百万円（対前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失233百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

日本は売上高2,986百万円（対前年同四半期1,052百万円増加[54.4%]）、営業損失95百万円（対前年同四半期は営業損失476百万円）となりました。東南アジアは売上高1,014百万円（対前年同四半期364百万円増加[56.1%]）、営業利益132百万円（対前年同四半期は営業損失68百万円）、中国は売上高437百万円（対前年同四半期113百万円増加[34.9%]）、営業利益66百万円（対前年同四半期48百万円増加[278.4%]）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は14,270百万円となり、前連結会計年度末に比べ123百万円の増加となりました。流動資産は189百万円増加しましたが、主として現金及び預金の増加337百万円、受取手形及び売掛金の減少342百万円、電子記録債権の増加186百万円等によるものであります。固定資産は65百万円減少しましたが、主として建物及び構築物の減少58百万円、機械装置及び運搬具の減少72百万円、建設仮勘定の増加59百万円等によるものであります。

負債は5,061百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円の増加となりました。流動負債は146百万円増加しましたが、主として支払手形及び買掛金の減少14百万円、未払法人税等の増加58百万円、賞与引当金の増加56百万円、1年以内返済予定の長期借入金の増加96百万円、その他の減少53百万円等によるものであります。固定負債は84百万円減少しましたが、主として長期借入金の減少25百万円、リース債務の減少46百万円、繰延税金負債の減少6百万円等によるものであります。

純資産は9,209百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円の増加となりました。主として利益剰余金の減少3百万円、非支配株主持分の減少2百万円、その他有価証券評価差額金の減少16百万円、為替換算調整勘定の増加83百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は63.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、3,014百万円と、前連結会計年度末と比べ、337百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は639百万円(対前年同四半期347百万円増加[119.3%])となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益149百万円(対前年同四半期は税金等調整前四半期純損失268百万円)、減価償却費360百万円(対前年同四半期1百万円減少[△0.3%])、売上債権の減少額175百万円(対前年同四半期312百万円減少[△64.0%])、仕入債務の減少額21百万円(対前年同四半期260百万円減少[△92.5%])、法人税等の支払額29百万円(対前年同四半期11百万円増加[61.7%])となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は257百万円(対前年同四半期99百万円増加[63.4%])となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出241百万円(対前年同四半期196百万円減少[△44.9%])、無形固定資産の取得による支出9百万円(対前年同四半期7百万円減少[△44.4%])、投資有価証券の取得による支出10百万円(対前年同四半期3百万円増加[42.4%])、補助金の受取額10百万円(前年同四半期はありません)となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は56百万円(前年同四半期は768百万円の収入)となりました。これは主に長期借入れによる収入280百万円(対前年同四半期590百万円減少[△67.8%])、長期借入金の返済による支出209百万円(対前年同四半期40百万円増加[24.3%])、リース債務の返済による支出55百万円(対前年同四半期54百万円増加)、配当金の支払額69百万円(対前年同四半期3百万円増加[4.6%])となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年5月13日に公表いたしました2022年3月期通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,021,903	3,359,361
受取手形及び売掛金	1,786,593	1,444,183
電子記録債権	488,881	675,776
商品及び製品	161,093	186,228
仕掛品	498,148	513,621
原材料及び貯蔵品	71,550	84,824
その他	88,906	42,494
流動資産合計	6,117,077	6,306,490
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,240,310	4,274,790
減価償却累計額	△2,262,493	△2,355,259
建物及び構築物 (純額)	1,977,816	1,919,530
機械装置及び運搬具	9,552,177	9,681,618
減価償却累計額	△7,445,832	△7,647,644
機械装置及び運搬具 (純額)	2,106,344	2,033,973
工具、器具及び備品	1,201,592	1,217,833
減価償却累計額	△1,022,786	△1,034,813
工具、器具及び備品 (純額)	178,805	183,020
土地	2,241,189	2,239,184
建設仮勘定	252,295	311,616
有形固定資産合計	6,756,452	6,687,325
無形固定資産		
のれん	10,062	8,232
その他	120,267	123,521
無形固定資産合計	130,329	131,753
投資その他の資産		
投資有価証券	907,513	893,156
関係会社株式	85,376	99,222
その他	149,985	152,671
投資その他の資産合計	1,142,875	1,145,050
固定資産合計	8,029,657	7,964,130
資産合計	14,146,735	14,270,620

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	530,986	516,497
電子記録債務	380,000	379,000
短期借入金	515,339	524,831
1年内返済予定の長期借入金	416,228	513,123
リース債務	102,465	98,630
未払法人税等	16,024	74,849
賞与引当金	120,522	177,342
役員賞与引当金	10,326	7,428
その他	570,145	516,783
流動負債合計	2,662,040	2,808,484
固定負債		
長期借入金	1,235,469	1,210,314
リース債務	299,447	252,843
長期未払金	79,380	79,380
繰延税金負債	408,054	401,618
退職給付に係る負債	258,551	253,044
その他	56,124	55,680
固定負債合計	2,337,027	2,252,882
負債合計	4,999,068	5,061,367
純資産の部		
株主資本		
資本金	556,073	556,073
資本剰余金	506,523	506,523
利益剰余金	7,463,292	7,459,694
自己株式	△15,859	△15,867
株主資本合計	8,510,030	8,506,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	306,072	289,481
為替換算調整勘定	164,151	248,038
その他の包括利益累計額合計	470,223	537,519
非支配株主持分	167,412	165,308
純資産合計	9,147,667	9,209,252
負債純資産合計	14,146,735	14,270,620

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	2,843,586	4,307,174
売上原価	2,625,271	3,346,989
売上総利益	218,314	960,184
販売費及び一般管理費	735,551	853,914
営業利益又は営業損失(△)	△517,237	106,270
営業外収益		
受取利息	4,782	1,385
受取配当金	7,770	10,985
持分法による投資利益	—	9,503
スクラップ売却益	1,903	10,404
その他	10,353	10,807
営業外収益合計	24,809	43,086
営業外費用		
支払利息	14,395	13,810
持分法による投資損失	21,512	—
有価証券売却損	535	—
為替差損	621	2,000
その他	0	3,582
営業外費用合計	37,065	19,394
経常利益又は経常損失(△)	△529,493	129,962
特別利益		
固定資産売却益	463	4,378
補助金収入	55,166	12,195
保険解約返戻金	16,968	4,091
負ののれん発生益	195,957	—
特別利益合計	268,556	20,665
特別損失		
固定資産売却損	193	1,147
固定資産除却損	6,955	30
特別損失合計	7,149	1,177
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△268,086	149,451
法人税、住民税及び事業税	9,663	78,737
法人税等還付税額	△21,506	—
法人税等調整額	△4,601	5,285
法人税等合計	△16,444	84,023
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△251,641	65,427
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△18,430	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△233,211	65,430

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△251,641	65,427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56,324	△16,590
為替換算調整勘定	△181,655	81,997
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,255	4,343
その他の包括利益合計	△129,585	69,750
四半期包括利益	△381,227	135,178
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△343,823	132,726
非支配株主に係る四半期包括利益	△37,403	2,451

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△268,086	149,451
減価償却費	361,215	360,012
のれん償却額	1,829	1,829
負ののれん発生益	△195,957	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	71,337	57,140
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,491	△2,898
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,396	△5,947
受取利息及び受取配当金	△12,552	△12,371
支払利息	14,395	13,810
為替差損益(△は益)	△10	—
持分法による投資損益(△は益)	21,512	△9,503
有価証券売却損益(△は益)	535	—
補助金収入	△55,166	△12,195
固定資産売却損益(△は益)	△269	△3,231
固定資産除却損	6,955	30
保険解約損益(△は益)	△16,968	△4,091
売上債権の増減額(△は増加)	487,412	175,397
棚卸資産の増減額(△は増加)	18,338	△46,615
仕入債務の増減額(△は減少)	△281,988	△21,256
その他	31,125	3,075
小計	186,563	642,635
利息及び配当金の受取額	15,194	12,378
利息の支払額	△7,169	△12,536
補助金の受取額	55,166	2,195
法人税等の支払額	△18,259	△29,533
法人税等の還付額	60,087	24,417
営業活動によるキャッシュ・フロー	291,582	639,557
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の売却による収入	3,150	—
有形固定資産の取得による支出	△437,616	△241,324
有形固定資産の売却による収入	472	8,840
有形固定資産の除却による支出	△2,125	△10
無形固定資産の取得による支出	△17,865	△9,939
投資有価証券の取得による支出	△7,420	△10,565
定期預金の増減額(△は増加)	478,800	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△205,687	—
保険積立金の解約による収入	36,927	4,091
預り保証金の返還による支出	△3,096	△18,790
補助金の受取額	—	10,000
その他	△2,913	607
投資活動によるキャッシュ・フロー	△157,375	△257,089
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△8,506	1,966
長期借入れによる収入	870,000	280,000
長期借入金の返済による支出	△168,319	△209,220
自己株式の取得による支出	—	△7
リース債務の返済による支出	△363	△55,241
セール・アンド・リースバックによる収入	175,671	—
配当金の支払額	△66,324	△69,362
非支配株主への配当金の支払額	△33,359	△4,555
財務活動によるキャッシュ・フロー	768,798	△56,421
現金及び現金同等物に係る換算差額	△50,105	11,411
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	852,901	337,457
現金及び現金同等物の期首残高	1,709,636	2,676,903
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,562,537	3,014,361

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、有償受給取引について、従来有償支給元への売り戻し時に売上高と売上原価を総額で計上しておりましたが、加工代相当額のみを純額で収益として認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従来の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、従来の会計処理と比較して、当第2四半期連結累計期間の売上高は11百万円減少し、売上原価は11百万円減少しております。営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高も影響ありません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	東南アジア	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,913,175	620,584	309,825	2,843,586	—	2,843,586
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,020	29,570	14,640	65,231	△65,231	—
計	1,934,195	650,155	324,466	2,908,817	△65,231	2,843,586
セグメント利益又は損失 (△)	△476,795	△68,663	17,471	△527,986	10,749	△517,237

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額10,749千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△16,877千円及び報告セグメント間の取引の相殺消去等27,627千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「日本」セグメントにおいて、株式会社津村製作所を連結子会社としたことにより、負ののれん発生益を計上しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、195百万円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	東南アジア	中国	計		
売上高						
プーリ	1,210,764	808,047	369,851	2,388,663	—	2,388,663
トランスミッション	822,307	—	—	822,307	—	822,307
その他	933,097	129,812	33,293	1,096,203	—	1,096,203
顧客との契約から生じる収益	2,966,169	937,860	403,144	4,307,174	—	4,307,174
外部顧客への売上高	2,966,169	937,860	403,144	4,307,174	—	4,307,174
セグメント間の内部売上高又は振替高	20,297	76,808	34,648	131,754	△131,754	—
計	2,986,466	1,014,668	437,793	4,438,929	△131,754	4,307,174
セグメント利益又は損失(△)	△95,563	132,639	66,108	103,184	3,085	106,270

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額3,085千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△19,413千円及び報告セグメント間の取引の相殺消去等22,498千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。